

輸出に取り組んだ背景

- 2011年に小豆島でオリーブ牛が誕生し、県をあげて、そのブランド化を図るべく活動をしてきたが、小豆島の牛は神戸へ出荷していたこともあり、神戸ビーフや松阪牛と比較され、国内では評価されにくかった。
- 2015年にニューヨークで行われたSummer Fancy Food Showに参加した際、一定の評価を得たことから、「ニューヨークで販売したい」と考え、輸出を開始。
- 何度も現地に足を運び、オリーブ牛のストーリーと自分たちの想いを理解してくれるディストリビューターを獲得したことにより、海外でのオリーブ牛ブランドが認知されてきている。

課題と解決のポイント



香川県モデル

オリーブ牛は新しいブランドであり、近隣の神戸ビーフや松阪牛などのブランド牛と比較され、既存の商流では利益を得ることは難しい。

生産者、行政、食肉関係団体、食肉販売店、JA、全農、コーディネーター、輸出会社、現地販売会社と多くの関係団体との連携により、ブランド化を推進。香川県モデルとして、評価されている。



循環型農業のPR

オリーブオイルの搾り粕を飼料化するエコフィードの取り組みを確立し、オリーブ牛の堆肥をオリーブ畑に還元する資源循環型農業を実践。

オリーブ牛誕生の背景ストーリー、循環型農業モデル、海外でのオリーブオイルのイメージが重なり、欧米の方に受け入れやすく、特に高価格帯レストランや消費者に受け入れてもらいやすかった。



低価格部位の販売

ブランド化が進み、ロースなどの高価格帯の部位については、順調に推移したものの、低価格帯の部位については、現地で扱い方がわからず、販売できない。

現地でのカッティングセミナーや招へい事業を通じて、海外で知名度のあるシェフやディストリビューターに和牛について、より深く知ってもらうことができ、低価格部位の輸出も実現できた。



今後の展望

▲美しいサシの入ったオリーブ牛



海外向けブランドのロゴマーク▶



▲加工工場

- 現在、オリーブ牛の生産等数は約2,700頭であり、徐々に増加してきている。畜産農家からは一般的な和牛よりも2割ほど高く買い取ることで、安定的な農家経営につながっている。今後の目標頭数は3,000頭。
- 地方の中小企業であっても、各方面と連携することで、大きな力となり、輸出が可能となることを広めていく。また、インバウンド需要の高まりを活用し、ブランディングの逆輸入を進めていく。
- 低価格部位においても調理方法をPRし、輸出拡大を行う。

平成28年度（第1回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

- 十勝川西長いも運営協議会（北海道帯広市）
4Lサイズの長いもを1999年より台湾への輸出を開始し、米国、シンガポールにも販路を拡大。十勝管内の8農協による広域での生産・供給体制を確立。
- オイシックス株式会社（東京都品川区）
2009年より、野菜、果物を中心に自社のECサイトを通じて香港の消費者へ直接販売。日常的に消費する生鮮食品を、現地の一般消費者に提供。
- 尾鷲物産株式会社（三重県尾鷲市）
台湾、シンガポール、中国等に対し、直営養殖のブリ等を輸出。台湾(2015年開始)、ベトナム(2016年開始)に生鮮水産物を空路で定期輸出。
- 旭酒造株式会社（山口県岩国市）
日本酒を2002年から台湾向けに輸出開始。2003年からNYへ進出し、試飲会等により認知度向上を図る。2007年からフランスにも販路を拡大。
- 株式会社くしまアオイファーム（宮崎県串間市）
2012年からシンガポール向けの輸出を開始し、香港、台湾に拡大。需要が高い小ぶりなサイズのサツマイモを栽培する小畦密植栽培法を開発・実践。

【農林水産省食料産業局長賞】

- 阪和興業株式会社（東京都中央区）
2006年のインド向け輸出を契機に、丸太を中国、台湾、韓国、フィリピンへ販路を拡大。
- トップ・トレーディング株式会社（東京都千代田区）
EU域内15か国への加工食品の輸出に加え、2012年にゆずの賞味会や高級レストラン等への売込により需要を喚起し、国内で初めてEUへ生鮮ゆずを輸出。
- 株式会社新潟農商（新潟県新潟市）
2011年から香港向けに玄米輸出・現地精米を開始。2013年にはモンゴルに合弁企業を設立し、シンガポール、ハワイ、ベトナムにも販路拡大。
- 株式会社ヤマト醤油味噌（石川県金沢市）
味噌・醤油をフランス、米国等へ輸出。2011年から2014年までの3年間で、年間輸出額を5,000万円から1億円にまで急伸。2012年にFSSC22000を取得。
- 福島鯉株式会社（京都府京都市）
2011年より米国、韓国、台湾等へだし原料を輸出。顧客のニーズを捉えた商品開発。本業態で初のハラル認証を取得。2014年に米国に現地法人を設立。
- 株式会社なにわ花いちば（大阪府大阪市）
2008年からニューヨークやシカゴ等の大都市での花きのプロモーションを展開し、北米、中国、台湾、オランダ等へ輸出。航空便輸送の定期ルートを確立。
- 株式会社神明（兵庫県神戸市）
2010年より精米等を香港、豪州、米国等へ輸出し、米国、香港等には営業拠点を設置。FSSC22000取得。香港の気候に合わせて真空包装袋による業務用米販売。
- 北川村ゆず王国株式会社（高知県北川村）
EU向け検疫条件を満たした園地等の登録に取り組み、2012年にフランスへゆず青果を国内初輸出。同年にフランスやスペインのシェフ等を招へいし、ゆず賞味会を実施。
- 木材輸出戦略協議会（鹿児島県志布志市）
宮崎県、鹿児島県の4森林組合が連携し、スギ、ヒノキ等の原木の安定的確保を実現。韓国への輸出を皮切りに、中国への輸出拡大。
- 東町漁業協同組合（鹿児島県長島町）
養殖ブリを、北米、アジア、EU向けに輸出。1998年に養殖魚としては国内初となるHACCP認証取得、輸出拡大に向け施設を整備。
- オリオンビール株式会社（沖縄県浦添市）
2016年に台湾に事務所を開設。米国、中華圏、東南アジア、オセアニア等の各エリアに担当者を配置し、効果的な営業を展開。

平成29年度（第2回）輸出に取り組む優良品業者表彰

【農林水産大臣賞】

■ 株式会社Wakka Japan(北海道札幌市)

香港、台湾、ハワイ、シンガポールに日本産米専門店を設立。玄米を輸出し、現地店舗にて精米して販売。日本のコメ輸出量(2016年)の約1割を同社が輸出。

■ 丸山製茶株式会社（静岡県掛川市）

輸出先国の嗜好にあった日本茶・抹茶を生産、製品開発により輸出。ロンドンを拠点に現地流通業者を介さず輸出を拡大。

■ 株式会社スギヨ（石川県七尾市）

1976年から米国を最初に、中国、香港、台湾等に「かに風味かまぼこ」を輸出。2004年からニーズに応じた改良により、高付加価値製品を供給し他社製品と差別化。

■ 全国農業協同組合連合会鳥取県本部（鳥取県鳥取市）

1933年から二十世紀梨の輸出を開始し、近年は二十世紀梨の輸出ルート活用により、台湾、米国等向けに、スイカ、肉、野菜等の輸出を拡大。

■ サンキョーミート株式会社（鹿児島県志布志市）

2006年から対米牛肉輸出を開始。以降、11カ国・地域（カナダ、中国等）の施設認定を取得し、現在42カ国への牛肉輸出体制を整え、輸出を拡大。

【農林水産省食料産業局長賞】

■ 西山製麺株式会社（北海道札幌市）

1987年より札幌ラーメンの麺、タレ等をドイツ、米国等26カ国・地域へ輸出。麺は全て自社工場で生産し、商社を通さず専用の冷凍コンテナにより現地へ輸出。

■ 青森県農村工業農業協同組合連合会（青森県弘前市）

独自の製法により酸化防止剤を使用しないりんごジュースを香港、台湾等へ輸出。生食用として市場に出回らないりんごを活用する等、生産者の所得向上にも寄与。

■ 株式会社南部美人（岩手県二戸市）

1997年から日本酒を米国、香港等に輸出開始。2013年にKOSHERの認定を受け、現在30カ国以上へ輸出。他の酒蔵と共に、欧米、アジア等へ普及啓蒙を展開。

■ 株式会社新丸正（静岡県焼津市）

水揚げから加工の全てが「MADE IN YAIZU」のかつお節を米国、香港等へ輸出。2017年に全国で初めて対EU・HACCP認定を取得、EU向けに輸出。

■ 株式会社北雪酒造（新潟県佐渡市）

レストランNOBUに、国内で唯一の日本酒提供酒蔵。これを主軸に米国、EU等世界各国に輸出。主原料は、地元農家が契約栽培する酒米を使用。

■ 丸美産業株式会社（愛知県飛島村）

国内の規格にはなかったサイズに造材するなど間伐材等の海外需要を掘り起こして未利用材が商品になる可能性を示し、輸出を拡大。2017年FSC認証、PEFC認証を取得。

■ 株式会社鈴木栄光堂（岐阜県大垣市）

2014年から自社製品だけではなく、国内菓子メーカーと協業で顧客の要望する菓子製品を企画・製造した商品を輸出。香港に現地取引先との協業でアンテナショップを開店。

■ 京都青果合同株式会社（京都府京都市）

2014年香港の青果物国際展示会に出展。京野菜等の販促・PRを展開し、輸出を拡大。飲食店向けに京野菜メニュー作成・商品化等による多角的にPRして、認知度向上を図る。

■ 白鶴酒造株式会社（兵庫県神戸市）

輸出主要国の嗜好に即した海外専用商品を開発し、50ヶ国へ輸出。現地総代理店に資本出資した現地法人を活用し、現地企業への積極的な日本酒の啓発活動を展開。

■ 三島食品株式会社（広島県広島市）

1960年からふりかけ、調味料等を米国、台湾等へ輸出。マーケティング活動により、現地ニーズにマッチした商品を開発。対米HACCP、ISO14001、FSSC22000認証を取得。

平成30年度（第3回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

- 株式会社とかち製菓（北海道河西郡中札内村）
製品開発力を武器にハラル対応和菓子で輸出を拡大（マレーシア、台湾、ベトナム等10カ国）
- Wismettacフーズ株式会社（東京都中央区）
市場調査に基づく独自ブランド「SUGOI」で小玉りんごを輸出（香港、台湾、タイ等10カ国）
- 金印株式会社（愛知県名古屋市）
産地（自社農園含む）から海外まで一気通貫型の輸出モデルを構築（米国、英国、ドイツ等65カ国）
- 築野食品工業株式会社（和歌山県伊都郡かつらぎ町）
米油と米糠由来の有効成分抽出加工と輸出の一環体制を構築（米国、タイ、フランス等30カ国）
- イヨスイ株式会社（愛媛県宇和島市）
愛媛県宇和島市発の一気通貫型輸出モデルにより新しいマーケットを開拓（韓国、米国、中国等20カ国）
- 鹿児島堀口製茶有限会社（鹿児島県志布志市）
化学農薬だけに頼らないスマートIPM農法による輸出向け茶の産地化（米国、台湾、ドイツ等10カ国）

【農林水産省食料産業局長賞】

- 株式会社長沼あいす（北海道夕張郡長沼町）
一次加工品輸出・現地二次加工でコストダウンと作りたてを実現（台湾、シンガポール、マレーシア等）
- 有限会社柏崎青果（青森県上北郡おいらせ町）
突破力のある商品開発と取引先のニーズに地道に対応し輸出を拡大（米国、フランス、英国等18カ国）
- ゼンフーズジャパン株式会社（東京都中央区）
マグロを中心とした日本食材を通じた日本文化の発信（香港、シンガポール等）
- 株式会社日本農業（東京都品川区）
最適化による垂直統合型輸出用バリューチェーンの構築（タイ、インドネシア、香港等7カ国）
- 株式会社山治（東京都江東区）
TOYOSU・YAMAHARUをハブとした日本産水産物の輸出モデル（香港、米国、台湾等20カ国）
- 株式会社アライドコーポレーション（神奈川県横浜市）
SNSを最大限活用したプロモーション戦略を実践。（タイ、シンガポール）
- 杉本製茶株式会社（静岡県島田市）
輸出に特化した生産・販売体制を構築し、有機抹茶を世界に発信（米国、英国、スイス等22カ国）
- 有限会社澤井牧場（滋賀県蒲生郡竜王町）
近江牛発祥の地から世界へ、地域一帯となって「近江牛」ブランドを発信（シンガポール、タイ、インドネシア等10カ国）
- 株式会社ダイニチ（愛媛県宇和島市）
“海外に一番近い日本”から鮮度抜群の魚をお届け（米国、タイ、オランダ等10カ国）

令和元年度（第4回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

- 株式会社ヤマナカ（宮城県石巻市）
持続可能な養殖法で生産された水産物を世界へ（香港、台湾、シンガポール等11カ国）
- 株式会社大水（大阪府大阪市）
10年前にゼロから立ち上げ産地をブランド化（ナイジェリア、エジプト、ベトナム等27カ国）
- オタフクソース株式会社（広島県広島市）
体験でファンづくり、現地が「美味しい！」味づくり（アメリカ、韓国、台湾等52カ国）
- 株式会社ミヤチク（宮崎県都城市） 2020年度農林水産祭（多角化経営・経営部門）：日本農林漁業振興会会長賞
取引先セールスやシェフへの技術指導でブランド確立（アメリカ、台湾、香港等8カ国）

【農林水産省食料産業局長賞】

- 青森トレーディング株式会社（青森県弘前市）
クールジャパン戦略で青森産りんごの認知度を高める（香港、台湾、タイ等9カ国）
- 大七酒造株式会社（福島県二本松市）
日本酒の高付加価値化によって業界をリード（アメリカ、香港、台湾等43カ国）
- みなみ信州農業協同組合（長野県飯田市）
国内需要低迷期に価格安定化を目指す（台湾、香港、シンガポール等6カ国）
- 豊明花き株式会社（愛知県豊明市）
市場機能を生かし高品質な日本産花きを輸出（香港、シンガポール、オーストラリア等12カ国）
- ヤマキ株式会社（愛媛県伊予市）
顧客ニーズにあわせた商品提案・相談対応！（台湾、アメリカ、韓国等25カ国）
- 株式会社兵殖（大分県津久見市）
養殖ブリを自社加工、冷蔵ブリを北米・EU・アジアに（北米、アジア、ヨーロッパ等12カ国）

【公益財団法人 食品等流通合理化促進機構会長賞】

- NAX JAPAN株式会社（東京都中央区）
鮮度重視！スピード実現に向けた継続的変革（香港、台湾、タイ等28カ国）
- 株式会社みすずコーポレーション（長野県長野市）
和食ブームをチャンスに日本の伝統食を海外に！（アメリカ、韓国、カナダ等16カ国）
- お茶の通販・京都おぶが茶苑合同会社（京都府相楽郡和束町）
和束のお茶に感動して新規就農「日本茶を世界に」（アメリカ、ロシア、オーストラリア等60カ国）
- 石光商事株式会社（兵庫県神戸市）
中小事業者へ海外販路開拓の場づくり！（アジア、オセアニア、欧州等25カ国）

令和2年度（第5回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

■ 株式会社柴沼醤油インターナショナル（茨城県つくば市）

日本の伝統を守り、現地の嗜好にあわせ商品開発

■ 株式会社築地太田（東京都江東区）

世界中の飲食店と豊洲をダイレクトに繋ぐweb受注

■ 株式会社ミトク（東京都港区）

世界40カ国に伝統的な日本の食品を紹介・販売

■ 東亜食品株式会社（兵庫県姫路市）

安心・安全を強化、世界の富裕層に日本の乾麺！

【農林水産省食料産業局長賞】

■ 稚内東部株式会社（北海道稚内市）

北海道産ブランドとして魚介類を世界に届ける！

■ 出羽桜酒造株式会社（山形県天童市）

香り豊かな吟醸酒の魅力を世界中へ発信

■ 株式会社ウオシヨク（新潟県新潟市）

雪室で熟成させる加工方法で牛肉を高付加価値化

■ 井村屋グループ株式会社（三重県津市）

米国向け日本産アイスのシェア8割を獲得

■ あづまフーズ株式会社（三重県三重郡菟野町）

寿司ネタにとどまらず独自の商品展開で市場を開拓

■ 株式会社和田萬（大阪府大阪市）

世界に本当のおいしさを届ける「世界一焙煎」技術

【公益財団法人 食品等流通合理化促進機構会長賞】

■ 一般財団法人北海道食品開発流通地興（北海道函館市）

北海道産品の海外販路を開拓し輸出をサポート

■ 株式会社 epoc トレーディング（東京都港区）

仕入・輸出入・現地販売をグループで一貫流通！

■ 奥飛騨酒造株式会社（岐阜県下呂市）

日本酒を気軽に楽しめる定番酒として提案

■ さとの雪食品株式会社／四国化工機株式会社（徳島県鳴門市）

現地の食生活に合わせた製品開発を継続！

令和3年度（第6回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

- 飛騨ミート農業協同組合連合会（岐阜県高山市）
国内随一の品質管理で飛騨牛を世界へ届ける
- 明石酒類醸造株式会社（兵庫県明石市）
日本酒を知らない海外のローカル市場を地道に開拓
- 株式会社キョーリン（兵庫県姫路市）
高品質で安心安全な日本産ペットフード「Hikari」
- 株式会社フンドーダイ（熊本県熊本市）
戦前は天津とバンコクで製造、1995年再チャレンジ

【農林水産省 輸出・国際局長賞】

- 株式会社ダイショー（東京都墨田区）
現地の文化に沿う提案で日本の伝統の味を届ける
- 木村飲料株式会社（静岡県榛原郡吉田町）
顧客ニーズへの細やかな対応で自社ノウハウを構築
- カメヤ食品株式会社（静岡県三島市）
わさびを生産・加工・販売し、海外に刺激を届ける！
- 大京食品株式会社（京都府京都市）
品質重視の無添加商品を世界のヘルシー食市場へ
- 紀の里農業協同組合（和歌山県紀の川市）
海外市場を取り込んで農家の所得安定確保
- Japan potato株式会社（鹿児島県鹿屋市）
独自長期貯蔵技術で高品質の生芋を年間輸出

【公益財団法人 食品等流通合理化促進機構会長賞】

- マルカイチ水産株式会社（北海道紋別市）
積極的な設備投資で工程自動化・付加価値向上
- 三幸製菓株式会社（新潟県新潟市）
日本で人気の米菓『雪の宿』シリーズを世界へ！
- 株式会社舞妓の茶本舗（京都府京田辺市）
多言語ECを構築し、輸出直販ラインを獲得
- オーケー食品株式会社（福岡県朝倉市）
独自の海外戦略でいなりあげの大量受注に成功

令和4年度（第7回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

- アグベル株式会社（山梨県山梨市）
若手が起点、民間選果場からの輸出で成功
- 丸善製茶株式会社（静岡県静岡市）
茶の集積地モロッコを活用し、日本茶を世界に！

【農林水産省 輸出・国際局長賞】

- 梅乃宿酒造株式会社（奈良県葛城市）
一国一代理店戦略による梅乃宿ブランド構築
- 株式会社千里（東京都荒川区）
海外顧客へのきめ細かい情報提供・誠実対応
- 津田宇水産株式会社（兵庫県たつの市）
漁師が世界に！美味しい牡蠣を届ける仕組み構築
- 北海道はまなす食品株式会社（北海道北広島市）
製造業者が世界と交渉し、直接輸出！

【公益財団法人 食品等流通合理化促進機構会長賞（輸出CHALLENG賞）】

- 農業生産法人合同会社赤石の泉（赤石五葉松輸出振興組合）（愛媛県四国中央市）
日本の“本物”の伝統文化を欧州ファンに普及
- 株式会社おさだ製茶（静岡県周智郡森町）
SNSをフル活用した有機上級茶のB2Cビジネス
- 日中物産合同会社（神奈川県横浜市）
世界標準を超える日本各地の牡蠣でアジアを魅了
- 株式会社ハノ商店（福岡県糟屋郡粕屋町）
海外の需要に合わせた原木・製材品の輸出

令和5年度（第8回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

- 株式会社木内酒造1823（茨城県那珂市）
日本産クラフトビール輸出のフロントランナー
- 株式会社クボタ（大阪府大阪市）
現地精米で美味しいお米のバリューチェーンを再構築
- 濱田酒造株式会社（鹿児島県いちき串木野市）
「世界に冠たる酒へ」国際事業戦略構築と基盤強化
- 株式会社ナンチク（鹿児島県曾於市）
お客様に寄り添った教育と個別要望対応で輸出増

【農林水産省 輸出・国際局長賞】

- 株式会社新澤醸造店（宮城県大崎市）
世界一の酒蔵を目指したブランドづくり
- 株式会社稲庭うどん小川（秋田県湯沢市）
高い商品力を持つ稲庭うどんが世界市場で好評
- 株式会社ヤマサン（京都府宇治市）
越境EC・インバウンド体験からリピーターを獲得
- 株式会社にし阿波ビーフ（徳島県三好郡東みよし町）
ハラール厳格対応で安心安全な和牛を世界展開
- 株式会社 ADVANCE INTERTRADE（福岡県福岡市）
鮮魚・活魚を鮮度とサイズにこだわり仕入れ、輸出
- 鹿児島製茶株式会社（鹿児島県鹿児島市）
農家を支援し有機栽培実現！直接取引で世界に

【公益財団法人 食品等流通合理化促進機構会長賞（輸出CHALLENGE賞）】

- 株式会社フランクジャパン（東京都港区）
海外市場流動化にも越境 EC ハブとして商品を積極展開
- 藤屋わさび農園有限会社（長野県安曇野市）
生鮮わさび安定供給+6次化で安曇野ブランドを発信
- 株式会社大石茶園（福岡県八女市）
各国の食文化や嗜好にあわせて輸出推進
- 株式会社イチゴラス（熊本県玉名市）
独自の技術で品質向上！イチゴ物語で世界に！

令和6年度（第9回）輸出に取り組む優良事業者表彰

【農林水産大臣賞】

- 株式会社芦別RICE（北海道芦別市）2025年度農林水産祭（多角化経営・経営部門）：天皇杯
芦別の米が海外で絶賛！芦別産ブランドを海外へ
- スターゼン株式会社（東京都港区）
最高の技術と輸出専用ブランドで海外に展開
- 株式会社カクニ茶藤（静岡県静岡市）
生産者とともに、有機栽培茶を世界へ
- 和牛マスター輸出拡大コンソーシアム（兵庫県姫路市）
全国のブランド和牛を姫路発でプロモーション

【農林水産省 輸出・国際局長賞】

- 越後製菓株式会社（新潟県小千谷市）
ふんわり食感にこだわった新商品が海外でヒット！
- 丸啓鯉節株式会社（静岡県御前崎市）
ハラール認証を取得し、イスラム圏へ進出
- 大吉商店株式会社（滋賀県高島市）
未開拓市場へ進出し、地域ブランドを世界に発信
- チョーヤ梅酒株式会社（大阪府羽曳野市）
産農一体となって「梅酒」の魅力を世界に届ける
- 石丸製麺株式会社（香川県高松市）
「さぬきの夢」国産原料の讃岐うどんを世界へ展開
- 株式会社ネイバーフッド（宮崎県宮崎市）
みかんの産地リレーで、みかん産業を活性化

【公益財団法人 食品等流通合理化促進機構会長賞（輸出CHALLENGE賞）】

- 株式会社ギンビス（東京都中央区）
直接貿易の強化で新規取引先を次々獲得
- 株式会社シティ・スーパー・ジャパン（東京都港区）
高級スーパー向け日本の高品質商品を厳選輸出
- 株式会社播磨灘（兵庫県姫路市）
播磨灘の豊かな海で育った高品質な“かき”を世界へ
- 千代むすび酒造株式会社（鳥取県境港市）
現地商社との直接取引により原地系マーケットを開拓



1億人ではなく、
100億人を見据えた
農林水産業へ。

農林水産省 令和7年度 農林水産物・食品輸出促進対策事業
輸出に取り組む優良事業者表彰事業
令和7年度(第10回)輸出に取り組む優良事業者表彰 事例集

令和7年12月発行

発行者 公益財団法人 食品等持続的供給推進機構
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-5 第1東ビル6階
TEL 03-5809-2176